



世界陸上北京大会事前合宿を実施した選手の主な実績

氏名	性別	種目	世界陸上北京大会 2015.8	リオ五輪 2016.8
男子				
マシュー・セントロヴィッツ(米)	男子			
ゲーレン・ラップ(米)	男子			

2016年度利用団体の国内主要駅伝大会での実績

	実業団駅伝 (男子) 2017.1	実業団駅伝 (女子) 2017.1	箱根駅伝 2017.1	全日本大学 女子駅伝 2016.1	全国高校駅伝 (女子) 2016.12
1	旭化成	日本郵政G	青山学院	松山	薫英女学院
2	トヨタ自動車	第一生命G	東洋	立命館	西脇工業
3	トヨタ自動車九州	ヤマダ電機	早稲田	名城	神村学園

飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア利用実績

モハメド・ファラー(英)

5,000m

10,000m

1,500m

マラソン

10,000m

金銀銅賞

NTC医・科学サポートスタッフの谷口さん(左)
岐阜県地域スポーツ課の野尻さん(右)

東京五輪は通過点

同トレーニングエリアには東京五輪の事前合宿として、仏陸上中長距離チームの利用が決定し5位入賞